

編集方針

「統合報告書2019」は、ステークホルダーとのコミュニケーションを図り、広く社会の信頼を得ることを目的としています。丸紅グループの企業価値をより体系的にご理解いただくために、企業価値と社会価値の共創を目指す姿を、統合報告書としてまとめています。丸紅グループの事業戦略とともに、ビジネスを通じた社会的課題の解決にいかに取り組んでいるかを知っていただければ幸いです。

なお、本冊子では、報告対象期間の年度表記を2019年3月期（2018年4月1日～2019年3月31日）としています。

将来見通しに関する注意事項

本資料に掲載された予測および将来の見通しに関する記述等は、本資料の発表日現在における入手可能な情報、一定の前提や予期に基づくものです。よって、実際の業績、結果、パフォーマンス等は、経済動向、市場価格の状況、為替の変動等、様々なリスクや不確定要素により大きく異なる結果となる可能性がありますが、当社は、本資料の情報の利用により生じたかかる損害に関し、一切責任を負うものではありません。また、当社は、本資料に掲載された予測および将来の見通しに関する記述等についてアップデートする義務を負うものではありません。

会計基準に関する注記

2013年3月期までは米国会計基準(U.S. GAAP)ベース、2014年3月期以降は国際会計基準(IFRS)ベースで記載しています。

また、本冊子では「親会社の所有者に帰属する当期利益」を「連結純利益／当期利益」と表記しています。

コミュニケーション体系図



CONTENTS

INTEGRATED REPORT 2019

- 002 丸紅の歩み
- 004 丸紅の実行力・成長力
- 008 丸紅の価値創造プロセス

CHAPTER 1

STRATEGY

経営戦略

- 010 社長メッセージ
- 014 社長による中期経営戦略GC2021解説

Column

- 021 3階層へフラット化
- 024 「ホライゾン3」「White Space」の考え方
- 026 「次世代事業開発本部」—10年後を見据えた
新たなビジネスモデルの創出を目指す営業組織

- 028 CFOメッセージ
- 032 リスクマネジメント

CHAPTER 2

MANAGEMENT FOUNDATION

経営基盤

- 034 サステナビリティ
 - 034 サステナビリティに対する考え方
 - 036 サステナビリティダイアログ
—サステナビリティ説明会を開催し、ステークホルダーと対話
- 040 基盤マテリアリティ
- 041 推進体制・リスク管理体制
- 042 環境・社会マテリアリティ
- 052 人財戦略
- 056 コーポレート・ガバナンス
 - 056 取締役
 - 058 コーポレート・ガバナンス At a Glance
 - 060 コーポレート・ガバナンスへの取り組み
- 070 役員一覧

CHAPTER 3

OPERATING ACTIVITIES

事業活動報告

- 074 組織図
- 076 営業本部
 - 076 ライフスタイル本部
 - 078 情報・不動産本部
 - 080 フォレストプロダクツ本部
 - 082 食料本部
 - 084 アグリ事業本部
 - 086 化学品本部
 - 088 電力本部
 - 090 エネルギー本部
 - 092 金属本部
 - 094 プラント本部
 - 096 航空・船舶本部
 - 098 金融・リース事業本部
 - 100 建機・自動車・産機本部

CHAPTER 4

CORPORATE INFORMATION

企業情報

- 102 財務ハイライト
 - 104 財務データ
 - 105 非財務データ
- 106 連結決算 At a Glance
- 108 財務関連グラフ・データ
- 110 経営者による財政状態および経営成績の分析
- 113 事業等のリスク
- 116 連結財務諸表
- 124 グローバルネットワーク
- 126 主要連結子会社および関連会社
- 131 会社情報
- 132 株式情報
- 133 環境データおよび社会性データについての第三者保証

TOP